THE WOMAN'S WEEKLY

第三巻第二十九號

大正四年七月二十日發行（毎週金曜日發行）

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□兒童の信念涵養……小橋三四子
□時事週評……
□我が國婦人の同盟して行ふべき急務……山脇博士
□暇……
□いろ／＼の社會「嫁入りも出來ぬ電話交換局」……民子
□應接間の五分間「林歌子女史」……記者
□稀れに見る清淨な漁村……I子
□女の先生の印象「教授の參觀より得る感想」……K子
□祖先性を發へ……瀬川新蔵
□避暑地のわが家族……ガンドレット恒子
□新刊紹介……
□纎弱い草花を保たせる法……木町たづ子
□泥鰌の料理……手塚かれ子
□オハナシ「自然兒」……玲子
□外國で聞く日本の國旗……
□小説「默爭」……高田てい子
□久保山の井……牧羊山人
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵稅五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本畫、西洋畫、刺繍、造花、編物、嚢物、裁縫教授法、古代服裁縫
洋服裁縫、小切細工、摘み細工、國民道德、染色法、料理

夏期講習會員募集

私立 女子美術學校

△七月廿七日ヨリ八月十日迄二週間（但裁縫教授法ハ七月二十五日ヨリ卅一日マデ 染色法ハ七月二十七日ヨリ八月三日マデ）

△講習料 一科金貳圓（但高等科、研究科、日本畫、西洋畫ハ參圓 染色法、料理ハ貳圓五拾錢）

△適當ナル寄宿所無キ者ハ本校寄宿舍ニ入舍差支ナシ（舍費食費共二週間金五圓六拾錢）

新女界

第九卷 第七號

七月號　百號記念號　價十二錢

□基督と弟子との共鳴 …… 海老名彈正

新女界主張
歸省する女學生方へ
女學生を待受らるゝ御家庭へ
著くなると

□戰後の婦人問題 …… 諸名家
□轉地と小兒 …… 山下清
□兒童の教養 …… 三田谷啓
□現代の日本婦人 …… 高峯博
□百號を記念するとて …… 一記者
□兒童と暗示 …… 今井紹綱
□蚤の話 …… 谷津直秀
□父母を憶ふ歌 …… 安田尙義
□果物と臺所の經濟 …… みや子
□小說「門の狼」…… 廣田花崖

發行所 東京小石川區林町四三 新人社
振替口座東京一四〇〇五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

兒童の信念涵養

口女子大學卒業生の研究

女子大學卒業生が組織して居る櫻楓會に於ては、會員の實驗を募つて、兒童の信念涵養問題を研究し、過る土曜日その發表會があるといふので列席致しました。私は我國の家庭、學校がこの種の教育に一向留意して居らぬ事を久しく遺憾に感じて居たので其問題をとつた研究會に多大の敬意を拂つたのでありました。然しこの一大問題が一朝一夕に解決せらるゝ筈はなく、この會合に於ても、單に「五六歳の兒童には　信念の萌芽とも見るべきものがあるのは、其の質問等によつて明らかに知らるゝが、如何にこれを指導したらばよいか、既成宗教によつて導くのも物足らぬし、されば大人が抱く宇宙の靈感を説き示す術もない」といふのが多くの人の困難を感ずる所と見ました。

口貧弱な大人の信念

然し私は兒童の信念涵養を論ずる前に、大人の信念の貧弱さを思はずに居られませんでした。多くの大人等は果して心から禮拜した經驗を持つて居りませうか。眞に神と共なる生活をして居りませうか。「神は靈なれば拜する者も亦靈と眞理とを以てすべし」といふ妙境に達して居りませうか。宗教が理論を遠ざけたのは、昔の事で、今日は遺憾なく其の知識慾を驅つて縱横自在に解剖し、批評する事を許しますが、其の終局は純一なる信仰に歸し、禮拜する域に達せなければ、宗教といふ事は出來ますまい。もしこの域に達した父母や教師であつたならば、無言の間に、延びやう〳〵とする兒童の信念を培ひ育てゝ行くことが出來ませうに、また無邪氣な兒童の信念に大人と同樣の理論を注ぎ込むに非ざれば、却つて既成宗教の弊に陷るゝを恐るといふ間に、早くも信念の双葉は涸渇して、養ひ難くなる憂ひがあらうと思はれます。

口今日留意する早教育

人の才能さへも、今日は成るべく早く見出して、之れを育つるに若くはないといふ早教育の説が盛んに稱へられます。音樂等に於ては殊に著しく、五六歳の頃天才を見出されて、練習を與へられた者は、拔くべからざる技能を持つことが出來るといふ事であります。音樂よりも更らに微妙な靈を、どうして早く養はずに完全に育つる事が出來ませうか。孟子でありましたか、もし曲つた小指一本を癒すといふ名醫があつたら、千里を遠しとせずして尋ねて行つて其の治療を乞ふであらうに、さても道を求める事は、何れも冷淡であるとの意味を嘆息されて居りますが、今の世も亦一家の健康に就ては千金萬金はおろか、我が財を傾けてもなほ惜しまぬ人はあつても、心靈の病氣を癒し、更らにこれに潑溂たる元氣を與へて行く事に苦心する人は極めて稀れであります。

口早くも燃え盡す命の焔

今日の青年は、果して眞面目に人生問題に煩悶するでありませうか、彼れ等は煩悶よりも早く現世的にひれ伏して、成功を思ひ、安逸を願ひ、戀を樂しんで居ります。彼れ等は若々しい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

精力に生きる間は、熱帶の花のやうに、いかにも生命に燃えて居りませうが、やがて青年の元氣も燃え盡して、我が子に第二の我れを見出して、聊か生命を樂しむ以外には、早くも老衰の人となる者が多うございます。歐米の文豪が四十を過ぎて名を成す者が多きに反して、我が國の文士は三十の青年期を過ぎれば早くも凋落の色を見せて居る者の多いのは、文豪の出ない所以であり、また我が一般青年の病弊を語つて居ると思はれます。

口生に荒める現代人

昔から「偉人は幼兒の如き心を持つ」と云はれて居りますが、常人より幾分なりとも傑出した人に會つて見れば、確かにこの言の空でない事が解ります。これ等の成年老年者には、現代の青年よりもより多く初々しげな眞面目に純な心を蓄へて居る事を屢々見聞いたします。其の事業に成功し、名を成した所以も、決して僥倖からではなく、小學兒童がいろはを學ぶやうに畏れと眞摯な態度を以て、小事を疎かにせず倦まず撓まず、進んで來たその努力の酬いであると思はせられます。所謂現代人と稱へて、輸入の誤つた思想の中毒に罹つて、早くも生に荒んで終ふ人々を憎むと共に、かやうな潮流を、何の關門もなく滔々流れしめた我が社會の無責任さを遺憾に思ひます。實際如何なる說が浸入しやうとも、我が社會には制裁を加ふべき何の權威もない状態であります。

口道は二ならず

兒童の信念涵養は要するに其の保護者、指導者の信念涵養に歸するのであります。我が生活を擧げて兒童を自らの間に感化するより、恐らく道はなからうと思はれます。もし我が信ずる所が誤つて居つて無邪氣な兒童の頭腦に、癒すべからざる鑄型を眛めはしなからうかと危むならば、我が信仰を滿足する迄正して行けばよいので、眞に信仰に燃えて居る者が我れと兒童との間に二つの道を許す筈はなからうと思はれます。而して今日迄餘り多くの權威のなかつたわが靈界を眞に力あらしめて、兒童や青年を導くに足るやうにするには、之れから一大努力を以て開拓して行かねばならぬと存じます。（三四子）

時事週評

口戰地に向ひし女軍

六月十八日露都に於て、ホロフエッエス少將が閱兵式を擧行した露國第一女軍決死隊は、創設者たる下士ボチカレロ女史統率の下に、愈よ七月六日雲霞の如き群衆に見送られつゝ、戰地に向つて出發したさうです。尙ほハバロフスクに於て、別に組織せられた女軍決死隊七十五名も、近く出發の筈であると申します。其の勇氣と一致死決心とは、なほ島國根性に煩らはされて、ことかく事勿れ主義に引籠つて居る日本婦人に一大警鐘を與ふるものであります。今日愛國婦人會の副會長さへもさま〴〵の事情のもとに得られないといふ我が婦人界の現狀は、實に寒心に堪へないことであります。

口獨逸の婦人服役義務說

本號山脇博士の談によつて、其の內容を知るを得る獨逸婦人の服役義務說は、決して突飛なものではなく、着實な有事の備へであります。我が國婦人の間にも己の一身の安全のみを思はず、やがて迫る戰後の日本の立場に起つて、何等かの用意が企てられなければなりません。

口講習會

婦人の爲めの夏期講習會が、年を逐ふて盛んになつて參るのは、喜ばしい現象であります。家庭に入つた婦人が、自由に講師や課目を選擇して、學び得る便宜な機會であつて、學生時代と異り、實地の經驗を積んだ身には、其の智識を消化する力も加はつて居りますから、ほんたうの學問が出來ませう。進んで各種の講習會に加はるやうにお勸め申します。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我が國婦人の同盟して行ふべき急務

獨逸の婦人服役義務説

法學博士 山脇玄

□純潔な家庭

日露戰爭後世界の一等國の仲間入りをした我が國も、一度歐洲の大戰亂が勃發してからは、深く考へて見ると孰れの方面にも殆ど獨立をして居らぬ幼稚な狀態である。此の秋に處して、能く我が國民を指導するに足る政治家なく、敎育家なく、また國家の信用を博するに足る實業家がない。社會の改善を促さんと希ふも、何から手をつけてよいか迷ふ位である。然し歸する處は、不完全なる家庭生活にあり、更らに溯れば無自覺なる結婚問題に原因しなければならぬ。もし男女が純潔な家庭を結べば、此處に育てらるゝ第二の國民は、健全にして善良なるものと育ち、從つて社會の總ての點が正しくなり、眞面目になり、國家の隆運を齎らす原動力を奮へる事が出來ると思ふ。かういふ立場から戰後の我が國婦人は如何なる自覺の上に起たなければならぬかといふに、次に擧ぐる數點が其の主要なものであらうと思はれる。

□經濟的方面の改善

獨逸から歸つた人の話に、「獨逸の今日あるは、中流家庭の堅實なる發達に歸する。彼れ等は平素勤勉力行して、貯金し、國家の緩急に際しては、盛んに軍事公債に應募する。獨逸が數ケ國を相手として、戰ひに年を重ねても倦まないのは、此の家庭の後援による」と云はれた。

然し何處でも中流社會の家庭では、金の有り餘る筈はない、只其の家庭の經濟を掌る婦人の手腕に須つのみで、家長の儲けて來る金を儉約して、出來る丈けの浪費を省くと同時に、自分も內職なり何なりの働らきをする中には商ひをする者もあつて貯金を作つて置くのである。日本婦人も此際大に覺悟を決めねばならぬと思ふ。元來我國民は男女共に秩序心と經濟心とが大に缺けて居る。從つて無駄な正味のない生活をしてゐる。故に一般に生活の仕方を改善し、物質に時間に勞力に於て經濟的に運用する事を大に工夫せねばならぬ。然し大袈裟に社會政策の大部分を改善する事は容易ではないから、先づ各自の家庭の經濟的方面を改めることが、最も實行し易くして効果の多いものである。物質を有益に費さんとし、時間勞力を無益に費さぬやうにするには、各自の心身を健全にして、假令一分時間でもだら〳〵生活する事を廢し總て時間に價値を持たせる事が必要である。そして國家の分子をなす各自の家庭を引締め、正味ある生活をする事が大切である。

□身體の訓練

第二には體育を盛んならしむる事である。今日二十萬からの地方の女が年々工場其の他の働らきに出で、其の内三千人は結核病で死ぬるといふ事である。統計によれば我が國近年十五歲から四十五歲迄の女子の死亡率の增加した事は明らかである。かやうに婦人の健康力が薄弱であつては、戰後諸外國と紛擾を生じ、女子も國家の爲め働かねばならぬと云ふ場合にはどうであらう。男子に代つて働らくの

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は、容易ならぬ困難である。故に今より女子の體育について注意し、女學校の體操は、少くとも女子高等師範學校に於て爲す位の程度に改め、他の學科と同等に認め同等に取扱ふ事が急務である。家庭の婦人も亦時間を利用して成るべく自分で用事を足し、買物に出るやうにして、外出する事を多くし、外氣と日光に當り、郊外の新鮮な空氣に觸れて身體を强健にする事を忘れてはならぬ。

□平和時の素養

今日の戰爭は國家の全力を要求し、殊に一國の男子は悉く武裝して軍役に就くに於ては、國內に殘る婦人の任務は重大である。危急の場合自分は何れの方面に働らいて國家に貢献せんとするか、傷病兵の看護か、軍人の遺族救護か、農業か、工業か、軍需品製造か、何れにしても一つの素養をつけて置くことを心掛けたいものである。米國では一婦人が歐洲戰亂につき、交戰後の婦人は如何なる方面に活動せるかを實地視察し、後參謀本部に來つて米國は何時戰に加はるであらうかと尋ね、多分三年位後と云ふ答を得た。すると此の婦人はうか／＼しては居られぬと、全國に檄を飛し、各婦人會に交渉して、いざと云ふ場合に看護婦志願者は何人、軍需品製造志願は何人といふ風に其の人員をすつかり調らべてあると云ふ事である。近く露國に婦人の決死團が組織されて、男子に劣らぬ操練振りを發揮し、英國に於ては婦人によつて軍需品製造器械の運轉が僅か二三ヶ月の練習で立派に出來て居る等は、其の國々の婦人の平和時の素養を思ひ遣られるのである。我婦人も平素から心掛け、或は其の方面の書物を讀むとか、時に工場等に實地見聞を爲すとかして、素養をつけて置き、いざといふ場合には少しの練習すれば立派に役立つやうにしたいものである。これ等の素養は蓋一用ふる折がなくとも、女子の知識をそれ丈げ豐富にして、社會百般の事を見聞する上に、興味を増さしむる事が出來る所以であり、また職業教育の基礎を爲す事が出來る仕方である。

□婦人の職業問題

今日新聞等に現はれる家庭の悲劇は、何れも婦人に經濟的獨立の力のない爲めに起ることが多い。一旦嫁せば假令いかなる虐待を受けやうとも行くべき處なく、起つべき道がない處から、自分を殺し、嫌や／＼ながら其の家に止り、不愉快な一生を過すのである。故に今後の女子は經濟上の獨立を得る爲め、職業教育を受ける事が必要である。古來男子は外に出で丶生計の資を求め、婦人は內にあつて家を治むるはその天性の然らしむる所であり、又當時の社會組織に能く適應した分業であつたのであるが、歐米に於て女權擴張の聲、漸く盛なるに從ひ、婦人も亦外に出で、各種の職業に從事するに至るの傾向は漸次その度を進め、開戰前にも婦人の爲めの職業は決して尠くはなかつたのである。然るに開戰後兵員として多數男子の徵集を必要とするに至るや、益々婦人活動の範圍を擴大し、獨り從來婦人の職業として認められたる箇所に於ける人員を增加せるに止らず纖弱なる婦人の到底成し得べからずと認められた職業迄も、漸次婦人の活動範圍となり、男子に劣らざる激務勞働に堪へ、男子の缺乏にも拘らず國內諸交通機關の運轉は云ふに及ばず、軍器、軍需品、食料品の製作、諸般の生產業に至る迄、開戰前に劣る所なからしめたのみでなく、更に益々其の實力を實現し得たことは、交戰各國の等しく認むる所である。

□獨逸の婦人服役義務說

尙又婦人服役義務といふ問題は、現時獨逸に於て屢々唱道せられるところであつて、男子の兵役と等しく戰時を顧慮し、婦

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人に對して義務的に所要の教育を施さんとするのである。これ蓋し平時に於ける婦人修養の不足は、戰時家政上及び救恤事業、その他各種の職業に就き、頗る不利なる情況を現出せしめた故である。此の說は獨逸女子經濟學校の創設者たるコルツフライシユ夫人の始めて唱道せる所でもとより多數の反對論はあるが爾後特に婦人界に於て論議研究せらるゝに至つた。今その概要を述ぶれば左の通りである。

女子は十四歲より二十歲迄の間に於て、國家の施設の下に一年間實用的教育を施すを要す。而して前半年間は家政上の仕事を實際的に教育し、その程度は最も單純なる家庭にも適應するやうに之れを定む。この教育を終りたる後は、媬姆、看護、園丁、裁縫・編物、及びその他各種の仕事に區分し、その各々一を專修せしむること、宛ら男子の兵役に於ける步、騎、砲、工、輜重に於けると異るところなくこの教育を受くべき少女の一部は一大救恤機關に收容して教育を施すを一般とす。之れが爲めには現存せる病院、孤兒院、其の他の設備を利用し、年々一定の經費を補助して一定數の少女の教育を擔當せしむ。その他の少女は男子の兵營の如きものを設備して、之れを收容し、指導管理に任ずる者は又婦人を以て之に充て、宛ら兵營に於ける將校、兵士の關係に等しからしむ。戰爭に際しては修得せる事業に應じ、活動せしめんが爲の、平時より軍隊に於ける動員計畫と等しく、之等婦人使用に關する計畫を確定して置くのである。

□この教育法の利益

斯くの如き方法を以て行はれた女子の教育は、戰時頗る大なる利益を齎らすのみならず平時にも亦尠なからぬ利益を享有するを得るであらう。即ち

一、身體の强壯及精勤の慣習を得ること。十四歲の少女に對しては、この種の教育は過重なりといふ論者も、各工場、各救恤事業に於けるこれ等少女活動の實況を視察せば、思ひ半に過ぐ。

二、女子教育に於て知識の注入を主とすべきことを唱道するに對して、實用的能力を尊重するの念を喚起す。

三、絕對的の隸屬、服從、義務心、確定等の良性格を養成す、

四、各階級の者と生活を共にする結果、廣く知識を求むることを得て、主婦の僕婢に對する際等に好影響を與るのである。

□結論

戰時婦人の活動は、獨逸一婦人の叫べる如くに、今や博愛、慈善を超絕して、國家に對する婦人の義務となり、婦人は獨り平時に於ける良妻賢母たるに止まらず、又戰時國內活動の中心たり得ることを必要とするに至つた、加之現時戰亂の例示する如くに、文明の權威も何等戰爭抑止の力なく、平和の永續は將來之を望み得べからずとせば、吾人は常時に戰時に處する準備と覺悟とを緊要とすべく、婦人も亦個人たると團體たるとを問はず、如何にして戰時その重任を完うすべきかに就き、平時より大に考慮するところなくてはならぬ。況して是等婦人の任務は戰爭の勃發と共に開始せらるゝを要し、その事業は複雜廣汎、周到なる計畫と用意とを必要とするものあるに於てをや。即ち婦人個々の修養の必要なるを認むると共に、當事者の大なる考慮を切望して止まざる所である。

噂

▲日本銀行調査役櫻田助作氏夫人節彌子さんは、明治の早い頃の留學生として、米國オガンツスクールに學ばれました。歸朝後は專ら上流社會の教育に身を委ねやうとて、文學を學ばれました。▲丁度同時代に米國プリンモア女子大學に留學された今の子爵內田康哉氏夫人まさ子さんは、熱心に經濟學を學ばれ、天晴れ實業家の內助者たらんと望んで居られました。▲然るに其の後二人の運命は望みに裏切つて、節彌子女史は實業家夫人となり、まさ子女史は外交官夫人となつて、上流社會の牛耳を執るやうになられたのですと。

五

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろ〱の社會(十四)

藪入りも來ぬ
電話交換局
汗を拭ふ間もない忙しさ

□ 世は藪入りの放たれた心で歡樂を歌つてゐる盆の十六日、閻魔大王の釜の葢さへ開くと言ふ日に私は浪花の電話交換局へ行つて交換手達の働き振りを見た。此處へばかりはお盆も來なければお正月も來ない。勿論藪入りなどの歡びに會ふこともなくて年中、呼び出しが遲いとか何とかとお客様から文句を言はれながら「若し〱何番」を繰り返して暮してゐる。人形町の角から一丁ばかり兩國橋よりの左、赤煉瓦の建物がそれである。親切さうな小使さんが私を螺旋狀の階段を昇つて二階へ導いて呉れた。交換手達が事務をとつてゐるのはその二階である。私は一人の婦人に案内されて色々と説明を聞きながら歩む。

□ 總延長三十四五間もあらうかと思はれる交換手臺は、幾曲りもの曲の手に曲つて、六七十人の交換手が密集して向つてゐる。みんな眞岡木綿や縮などの白い事務服の上に袴をつけ、左の耳に受話器をつけて妙な金屬板で夫れを止めてゐた。毎日二三の異動はあるけれど約五千五百八十餘の浪花の線を、この六七十人の交換手の細腕で取り扱かつてゐるとか。彼等はしきりなしに何番、何番、と聞き正しながら、迅速に線をつないでゐた。ジミ〱と氣味惡く白粉のついた白い衿足などを脂肪汗が走つたりしてゐるのに、夫れを拭ふ暇もなく、汗の流れるまゝに任かせてゐる。何の人も何の人も、白い事務服の背に冷たく汗が滲んでゐた。

□ 此處の交換手臺は舊式のものだとか、まづ正面の上に電話の番號を書いた小さな札が幾つも並んで居り、その下に番號と同じ穴が並んでゐる。加入者が電話をかけやうと思つて鈴を鳴らすなり何なりすると、上の番號を示した札が開く。そして同時に交換手の耳にも分るから番號を聞いて下にある穴により線を接ぐのである。が時にはその局の加入者同志の話しもあれば、また他の局の加入者との話しもある。同じ局の加入者同志の話しの時は一人の交換手の手によつて即坐に線を接ぎ得るも、他の局の加入者との場合には、初めに中接線を取扱ふ交換手を呼び出して呼出し番號を告げ、お話し中か否かをたしかめて接いで貰ふのである。で二重の手數を要するから、從つて勢ひ少ししは時間を要する譯となる。であるのに加入者の方では相手の出るのが遲いと言うて小言を言ふ。が交換手達は何時も瞬刻を競つて接いでゐる。

□ 案内して下さつてゐた方が、『本日などはお盆中なので非常に暇でございます、忙しい日になるとバタ〱〱〱と二十三四枚も殆ど同時に札が開いて呼び出しが懸つて參りますので何の札が先きであつたか分らなくなり、大まごつきに麻胡つくこともございます。此樣な時或る一ヶ所だけが然うで、他の方が暇であると隣に坐つてゐる者が手傳ふことも出來ますが、忙しい時は何處も同時に忙しいので夫れもならず、全く氣の毒になるほど苦しみます。が此處は株や相場師達のやうな一刻に幾千圓幾萬圓の取引きをする人達の通話が多いので、夫れを思ひ

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

やつて皆も必死になつて從事してゐます』などゝ仰有る。見てゐるとお言葉に勝る忙しさである。夜勤の人も加へると交換手全部で百五十人餘、一時間の取扱ひ數は平均二百二三十通話、最も忙しいのが午前は九時から十一時頃迄、午後は一時から三時頃まで。夜は十人休み、十二三人休みして夜中の十二時半から午前四時半までは十五人で取り扱つてゐる。四時半からはその反對に再び人を加へて、活動を開始するのだと言ふ。年齢は十八九歳の妙齢の女が最も多く二十一二歳で止つてゐる。見習ひ中は日給十七錢、一人前の交換手になると二十五錢給されてゐる。宿直の人の爲めに風呂の設備があり、百疊敷の大廣間の寢室がある。交換手になつてゐても一通りの諸藝が出來るやうにとて、希望者の爲めに習字、裁縫、造花、編物、摘細工、オルガンなどの科目を自由に修得し得るやうな設備がしてあつた。暑苦しい中にも慰安のある生活であらう。（民子）

應接間の五分間

其の十二

林歌子女史

—飛田遊廓撤回の激烈なる運動は遂に議會を動かす—

▲林歌子女史と言へば、大阪の飛田遊廓撤回問題の激烈な運動者として名高い矯風會大阪支部長である。同遊廓が若し撤回なし得ざるに至らば、百萬圓を以つて土地買收しやうとさへ叫んでゐられる。また此の叫びに答へるやうに既にその費用の幾分を寄附しやうと申し出た熱心家もあるので、政府で採用しなかつたならば直ちに願ひたいと言つてゐられるとか。過日衆議院の部分會では同遊廓撤回問題を採決することになつたやうである。林女史の歡びはどんなであるか、次ぎの議會が待たれる。

▲此様なに遊廓撤回などを叫ぶからには頑固な、話せない女子のやうに思はれるが、女史は世の酸も甘いも噛み分けた粹人であるから面白い。曾つて或る時救世軍の一士官が訪れて、『近頃の女學生は實に學生の本分を忘れたやうに、ベタ〳〵と白粉を塗るものが多くなつたから、之れから女學校の門前に立つて統計をとつたら宜からうと思ふ。』と言つたら、傍らにゐられた、矢島楫子女史が、『白粉は鏡臺に向つて坐つてつけるから、立つと不調和になります。』と仰有つた。と、夫れまで無言で皆の顔を見てゐられた林女史が、

『總じて、美しくなりたいと願ふのは女の本能だと思ひます。彼女等が白粉をつけるのも要するに美しくなりたいと欲するからでせう。であるなら、白粉を廢させやうと言ふよりも、其のしやれたい本能を善導した方が宜いではないかと思ひます。あの公娼を全廢しやうとするには一夫一婦を勵行せねばなりませんが、さうするには日本の家庭をもつと色彩の多い、居心地の宜いものにせねばならない。この意味からでも、日本の女に一層美しくなつて家庭の色彩を豐富にしてほしいと思ひます。』と仰有つた。女史のすべてはこの意見が代表してゐるやうに、智謀の富んだものである。野暮な人ではない。眼光の炯々とした人、ある時矢島楫子女史が、

杖なくば何にたよらん荷を重み
たそがれ急ぐ老いの旅路は

と歌はれたら、

暮れもせば燈とりて從はん
のぞみの港今は間近し

と、即坐に女史はお返しなすつたと聞いてゐる。

大阪の有志婦人を率ゐて飛田遊廓撤回の示威運動の先頭に起たれた林歌子女史

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

稀れに見る 清淨な漁村

——日本海岸線岩美驛の近村——

**之れは山陰道の一小漁村の實話でございます。東海道線を京都で乗り換へて丹波路から山陰線へ入ると、至る所に青葉の山裾を清らかな谿川の水が洗つてゐたり、白い砂丘が幻をのせて續いたりしてゐます。斯うした道を、西へ、西へと、ひたすらに走つて七時間ばかりすると、因幡の鳥取市に着きます。話はこの鳥取から二つ手前に當る岩美驛の北の日本海岸の漁村に於ける出來ごとであります。

**その漁村の名をつい逸しましたが、戸數は漸く數百戸、男と言ふ男は殆ど波の上を住家とする漁夫なのでございます。

『よく晴れた日の夕方、この海岸にジッと立つて向ふの方を眺めてゐると、うつすらと浦潮斯得の山が見えます。この海を一飛びすれば直ぐなんですからねえ。』と、さながら隣村の噂さでもするかのやうな無造作な言葉つきです。夫れと同時に皆の心は廣やかで、美しく何時も晴れ晴れしてゐます。そして獨立心に富んで居り、無敎育な人の集りながら、村人の間は清く滑らかな日がつゞいてゐます。この地に一人の面白い大工が住んでゐます。

**この大工は、その村人の代表的な性格を持つた男と言つても宜しいのでありませう。既う働き盛りをほど過た身でありながら、丈夫な爲めに若い衆に交つて負ずに働いてゐます。そしてその男には立派な息子が二人あつて、一人は某病院の副院長の地位さへあり、働きつかれた年老いた父親を迎へて殘る年月を樂しく送らせやうと度々迎へに來るのに、老大工は夫れを承知せず、愛子が與へやうとする浮世の歡樂を顧みやうともしない。

『息子さんが呼んでござるさうなのう。』と人が言ふと。

『親切に呼んで呉れますが私はまだ丈夫で、自分が食べるくらゐの仕事は充分しますから、丈夫な體をのら〳〵遊んで息子の寄人になるのは嫌です。幸に仕事もあるから、斯うして生れ故郷のこの土地で仕事をしてゐた方が、何の位ゐ呑氣だか知れません』と言つて、笑つてゐるさうです。『人間は働ける體を持ちながら働かないで横着をするとお天道さまの罰が當る。』と言つてゐると申します。無智な人とは言へ、人にたよらぬこの老大工の言葉は、實に千金の價があると言はねばなりません。この一小漁村は、男も女も、悉く斯うした人で充されてゐます。

八

*一體にこの地方の人は純朴でそして何か秀でた性格があります。之れは岩美の驛の話だつたと思ひます。或る人が、この地方には「私娼はゐませんか」と訊ねたらその土地の人が氣恥しさうに顏をなでながら、

『實は鐵道が開通すると同時に旅人の足を止めて土地の繁榮を計らうと言ふ目的から、私娼を置いたことがあります、すると旅人は汽車で驛を素通りして了ひ、私娼の手管に罹つたものは土地の若い衆だけだつたと言ふ騷ぎ、その上、私娼の色香に迷つて親の物を盗み出したり、借金したりして家を傾けるものが出來ましたので、とう〳〵追ひ拂つて了ひ、今は幸ひにその種の者の影もありません。』と言つてゐたとか、全く稀に見る清淨な土地でございます。(T子)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女の先生の印象（終り）

参観から得た

僞らぬ感想

▲市内の小學校を彼方此方と見廻つてゐるうちに、何時しか夏休みが間近く迫つてきた。此の頃は眠い時である。幼い子の弱々しい頭は、暑さに苦しめられて靜かに授業をうけてゐると、トロ〳〵と溶けるやうに甘い眠りに陷ちて行く。夫れを教師は學課の興味で眠らせまいとし、小さい生徒は、眠ると先生から睨まれるだらうと眠い眼をパチクリさせて、漸く瞳を見開らいてゐる。教師の手腕は斯うした困難な場合により多く現はれると知れど、幼い子の努力を見てゐるのは餘りに傷々しければ、一先中止して今日までの感想を書くことにする。

▲小學校の女教員問題に就いては這般『女教員の眞相及び其の本領』と言ふ四百頁に餘る書籍さへ出來て、眞率な態度で赤裸々な批評をした人がある。女教員自身の生活を生活したことのない私は、その眞僞何れとも言ひ得ないけれど、親しく數人の女教師の教授振りを見、そして放課後の十數分間、或は數十分間談話を交へて得たその感想から言へば、私にはその書籍に現はれた批評以外の或る大きな問題に突き當つたやうに思はれたその書籍に現はれてゐる師範學校長及び小學校長の認めてゐる長所と短所とは、頗る親切らしいけれど、その奧底を流れてゐる暗流にふれないやうな氣がする。或る一人の女教師（之れは何かの間違ひであれば幸だと思ふが）は、全く初對面の一面識もない私を捕へ、

『雜誌などにゐらつしやると廣く社會を相手の仕事だから、大きくて面白うございませうね。私などは毎日々々小さい子供を相手に同じことを繰り返すだけですから、ほんとに退屈だつたらございません』と、此樣なことを恥づる所もなく訴へるのであつた。其樣な教師に教へられる子供は、その淸らかな心の裏に、如何なことが、印象されるだらう。日に〳〵長じて行く子供の心は昨日の心で今日はあり得ない、嚴密な意味から言へば兩者の間には甚しい懸隔が認め得られる筈である。私は夫れを聞くと斯うした心の人が交るから問題が起るのだらうと思はざるを得なかつた。興味のない所に研究もなく進歩もないから、『退屈なら其樣な所に止まらずにさつさと止して他の方へ轉じたら宜いでせう。』と、さう喉元で強く罵倒してやらずにはゐられなかつた。此樣な教師に限つて見た所可成りの年でありながら、白粉をベタ〳〵とつけてゐた。實に不愉快である。奧底を流れてゐる暗流とは、教師と言ふものを自己の生涯の生活と思はず、單に生活の資を得る仕事に近いものと思つてゐるのではなからうか、と言ふことである。多くの中に斯うしたルーズな氣分の漂つた人が交つてゐるので問題が起つたのではなからうか。

▲總じて女教師の教授振りには創造的の分子が少く、言葉が非常に貧弱なことは著しく目立つた短所に思はれたが、教室内が多く一種の溫かい空氣に充たされ、お姉樣とかお母樣とかと呼びたいやうな慕はしい氣分をそゝる長所もあつた。人に父母があつて偏することなく長ずるやうに、短所はあつても女教師をして女の本領を發揮させて用ゐたら小學校教育が偏する事なく行き屆くだらうと思つた。（K子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

率先性を養へ

自主の人の本領

斬雲

□路上の密柑箱

佛蘭西人は獨逸人を罵つて彼等には率先性がない。彼等は永い間奴隷の如く壓制されて育つたから、他に率先して改良進歩を圖るといふ精神が無くなつた他人のなさぬ事を爲すは惡事であるが如く心得て居る」と言つて居ます。そして率先性の缺如せる一例として下の如き事を述べて居ます。「嘗て獨逸の某市で結婚式擧行の爲め教會へ出かける男女の一組があり、其式に列すべき友人親知者の一團と共に或る街を通つて居た。然るに其道路には密柑箱樣のものが投棄てられて居る。已に幾人となく其處を通行して、其密柑箱に蹴躓いた者があつたらうに、誰れ一人之を取除けなかつたものと見える。其箱には釘が出て居る。其處で今此の結婚式へ赴く一團が通り掛ると果して眞先きの一人の男は蹴躓いた。箱はひつくり返つた、併し其男は平氣で行く。次に來た老婦人は矢張其箱に蹴躓いて着物の裾が釘に引掛り幾らか破れた、それでも老婦人は箱を取除けやうともしない。次に來た一人の小兒は此の箱に躓いて倒れた、其母親は扶け起して仲間の後を追ふたが其箱をば其儘にして行つた。

□自由平等の本元

佛人曰く「我國の人民なら斯かる場合先づ第一に密柑箱に出會はした人間は之を通行の妨害にならぬ處へ取除けるべき筈だ何となれば、我々佛蘭西人は、自由平等の本家本元で、人間は他の奴隷でない、自分を主として物を考へ事を行ふの獨立意志を有つて居る。自分の耳目に遮る物は凡て自分の責任に歸すべきものである。だから、自分の心を尺度として一切を判斷し、五千萬の佛人は各自、皆、佛國を背負つて立つべき抱負を有つて居る。率先事に當り、衆の爲めに妨害を除く事は第一の任務である。彼れ獨逸人の如きは、率先性をカイゼルの爲めに束縛されて居る、率先して社會の爲めに妨害を除かうとする時、獨逸人は直ちに其の壓制な官僚政治に反抗する結果を生ずる。之はカイゼルを取捲く一派の官僚系者の喜ばざる處である、故に獨逸人の道德は自ら手控へて他人の事を眞似るといふ事である」と。

□世間て流行るから

日本の婦人も「世間ではどうから」と言つて率先事に當る事を好まない樣です。蟬の羽の樣なサンマー・コートも藝者が着て賣れない、金持娘が着て、女優が着る樣になると、普通の婦人も恐々ながらに着る。すると猫も杓子も着る。一般に普及すると得々として自分の時代が來た樣な顏をする。一雨被るか土方人足の仕事道具に引掛つて蟬の羽が直ぐ破れるかしても、一向お構ひなし、『世間で流行るから私も着る』といふ愚劣な程度に滿足して居ます。西洋の婦人が、雨天には頭から足迄桐油合羽に身を堅めて電車に乘つて居るのと引比べて、モット大膽に自分の欲する處を率先實行し大道の密柑箱を柳の根方へ取除ける樣な、理解の好い眞に新らしい女が必要です。

人に愛さば受け得べき
力を、さ我は願ふまじ
たゞ人を愛し得る力を、さ
―ルイズ―

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

避暑地のわが家族

子供海水着の注意

ガンドレット恒子

□全く自由に

暑中休暇は學校の事も家の事も何も彼も忘れさせて、全く自由の時として子供に與へてやりたいと思つて居りますのに、學校では日記、綴方、算術と云ふやうに、子供には苦痛に感ぜられる位ゐ澤山の宿題を出して居ります。子供は其の宿題の爲めに、一時間乃至二時間と云ふ長い時間をとられて氣の毒のやうに思はれますが、これが昨今の學校の規則である以上、餘儀ない事であります。然し其の他の時間は出來る丈け自分達の自由に使ふやうにさせて居ります。

□唯一つの規則

唯私が一つ子供に守らなければならないものとして與へて居ります規則は『他人の迷惑な事をするな』と云ふ事で、聖書にもございます通り『爾人にせられんと思ふ事は、爾また人にも其の如くせよ』と云ふ一事だけです。

『どんな事をしても宜うございますが、他の人のお邪魔になるやうな事はしてはいけません』と申し聞かせて置きますと、折角遊ばうと思つて家に這入つて參ゐりましても、赤ん坊の眠つて居るのを見て

「赤ちやんが寢んねして居るから、後にしませう。』

などゝ自分自ら細い處に注意して、大人が八ヶ間敷く世話をやきますよりも却つて宜しうございます。これ以外は何の拘束もなく、水いぢりもさせれば、砂山も作らせます。私も子供を女中まかせにして置く事は心配ですから、いつも子供と一所になつて海へも行けば、山にも登ります。尤も一二年の間は、休暇中時間割を定めて規則的に避暑地生活を送つて見ましたが、暑中位ゐは自由にして、浩然の氣を養はなければと子供達も申しますから、其の後は全く自由の生活をさせる事に致しました。

□海水着の色と帶

主人が海が好きで私は山が大好きですが、本年は子供達の爲めに葉山に參ゐる事になつて居ります。主人はまた都合上輕井澤に行かなければなりませんので家族が二つに別れますが、葉山の方へ參ゐりましたらば、矢張り朝夕二回位ゐ海に這入り女中も子供も一所に面白く遊び度いと思つて居ります。例年私は子供の海水着は赤いフランネルで作り白い帶を締めさせて置きます。これは大勢泳いで居りましても、どれが自分の子供であるか直ぐ見別けられて至極便利であるからです。又もしもの事がありました時に、帶があれば其れを持つて引上げる事が出來ますから必らず帶を締めさせて居ります。八月一日から九月五六日迄一ヶ月餘のこの避暑生活を、子供達は今から待ちわびて樂しんで居ります。

個人消息

△**長井博士令孃**　長井長義博士令孃エルザさんは、米國にて胃腸病を患ひ夫君始め父博士も痛く憂慮し居られましたが最近快癒せる旨の通知が米國より參ゐりましたさうです。

△**矢島楫子**　八月一日より愛孫を伴ひ北海道に避暑の筈。

△**高橋竹千代子**　東洋貿易會社長高橋徹夫氏同夫人竹千代子は數日前米國より歸朝、帝國ホテルに滯在。

△**三谷民子**　米國留學中の令妹の歸朝を近く迎へて、本月末沼津に避暑の筈。

十一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

纖弱い草花を保たせるには

水町たづ子

□日の出前の花

普通草花の水揚げ法と云へば根を燒くか煮るかの二つに限ぎられて居ります。ものに依つては藥品を用ひないでもありませんが、然しこれは餘程手加減が要つて其の割に花を長く保たせる事が出來ません。朝日の出前に切つた花でしたらば、どんな花でも直ぐ水の中に浸けて置きさへすれば決して水が下るやうの事はありません。花屋から持つて來た時は、活けるやうに花を組み合せて根を揃へ、不用の部分は切り棄て、根を横に持つて、蠟燭の火で眞赤になる迄燒きます。そして水に浸ければどんなものでも必らず保ちます。

□根を刺戟する事

時に來、蚊屋釣草のやうな莖の細いものは、花活けに活けてから、リウマと云ふ藥を普通の花器ならば茶匙に半分位ゐ入れて、湯を注いで置きますと餘程弱いものでもよく水を揚げます。菊などならば普通に活けてから如雨露で充分に水をやり、お湯の熱いのを注ぎます。其の時湯氣が揚ると花が弱りますから、それを防ぐ爲めに新聞で花器の口を蔽ひます。桔梗や朝顏の類は根を割つて鹽を揉み込むと隨分よく水を揚げます。凡て刺戟性のものを入れるのが宜いのですが、薄荷は餘り用ひると花器をいためますから注意しなければなりません。急場の水揚法として、おろし生姜の絞り汁を根につけて置く事もありますが、之れは矢張り保ちが惡うございます、

□夜露をとること

一體に花を長く保たせるには毎日水を取り替へるのが一番いゝやうです。又花器に依つて銅類なんぞのものならば毎晩軒下に出して置きますと、翌朝は生々として居ります。それでなければ花器から出して、外のものに移し、軒下に出して置いても宜しうございます。

子供の智慧

□不良少年とは

三郎さん(六才)は「不良少年」といふ言葉をどこから覺えて來たか、玩具をいぢりながら頻りに云つて居ります。「三郎さん不良少年て何?」と尋ねますと、言下に「肺病のこと」と答へました。

□南京玉がなつたら

美代ちゃん(八才)は、母が「まあこないだのお手玉の小豆がこぼれて芽が出た」と云ひましたら、「これあづきの木?」と云ひます。「さうです、いまに花が咲いて、あづきがなります」と云ひましたら、「では南京玉を蒔きませう、南京玉がなつたら、奇麗でせうねえ」と申しました。

十二

化粧問答

問 だん〳〵暑くなつて來ますと、外へ出た時汗や埃の爲めに、化粧くづれがして困ります。白粉も薄目につけたのは、剝げた時そんなでもありませんが、濃化粧の崩れた程、みつともないものは御座いません。夏は薄化粧に限ると存じますが、記者樣の御意見は如何でせうか。

（大阪府下　一愛讀婦人）

答 全くお說の通りです。夏は概して薄化粧の方が、見た目にも凉しさうで、至極結構です。尤も化粧崩れのしないやうにするには、初めから地肌を調へておけば宜敷いのでそれには先づ夜寢る時に、クラブ美身クリームを顏から頸筋に擦込んで、そつとタオルで拭き取つておき、翌朝すつかりとクラブ洗粉で洗落し、クラブ化粧水をすつかりと塗り込んで、生地を調へるのです。それからクラブ白粉でもクラブ美の素白粉でも、水刷毛で斑なく附けて延ばし、其上を洗ひ去り、そしてお顏色

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

泥鰌の料理

夏の食物に適しい

手塚かね子

夏の食物は凡て淡白したものを希望する所から、身體の脂肪が非常に少なくなりますので之れを補ふ爲めに、却て正反對の鯉、泥鰌、鰻のやうな脂肪分の多いものをとらなければなりません。其の内最も手輕に得られる泥鰌の料理法を二三種お話して見ませう。

□泥鰌汁　泥鰌料理の中で、これが一番美味しいものとされて居て、田舎へ行くと丸のまゝ煮て居ります、これは矢張り丸ごとでなければ甘味が出ないやうに思はれます。成る丈け小さくて生々したのを擇び鍋の中に入れて蓋をし跳ね出さないやうに蓋を押へながら、味噌汁ならば煮え湯を、清汁ならば酒を蓋の上から注ぎ入れ泥鰌が動かなくなる迄火にかけて置きます。煮えましたらば、汁を絞つて普通の味噌汁の中に入れ少し煮込んで茄子の繊切を加へ豆腐を入れて、下します。吸口には山椒或は胡椒を入れます。生の辛味は餘り好ましくはありません。

清汁の時は酒で殺した汁を矢張り漉て一度洗つて煮ます。茗荷の子と豆腐をあしらひに添へるのもよろしうございます。

□蒲燒を　大きいのを二つに開いて骨を抜き串にさし、よく熾つた火の上で焼きます。灰や炭に熾らない部分があると美味く焼けません。

垂れは人に依つて異ひますが、酒一升に砂糖五十目、醤油一合を入れて煮つめ、どろ／＼になつた處を先きの泥鰌に二度ばかりかけて焼きます。これは古くなる程美味くなりますから、澤山作つて、とつて置きます。あしらひに青山椒等を用ふるのもよろしい。

□柳川　先づ牛蒡の皮をこそげ太ければ四つ位ゐに切つて、水の中で廻しながら細くそぎ水に浸けて灰汁をぬきます。次に茄子を繊切にし、鍋の中に牛蒡と茄子を入れて、上に泥鰌のさいたのを上向に並べ、味淋と醤油と出汁、又は味淋の代りに酒と上等の白砂糖を加へて煮ます、野菜が軟かくなつた時に鶏卵を上にかけ、蓋をして文火で蒸します。膳には深皿ものに入れてすゝめます。あしらひに縦に細かく切つた茗荷や、さゝうちにした莢隠元を入れるのも亦妙です。

*

□紫蘇葉巻を　これは西洋料理ですが夏の食べものとして大變結構だと存じましたから一寸申上て見ませう。

同量の鳥と豚の挽き肉を叩いたのに、少し古パンを揉みほぐして混ぜます。パンが非常に堅い時には、布巾に包み、水をかけて少し叩くと、パラ／＼にほごれます。この中に鹽と胡椒を入れて味をつけ、紫蘇に包んで鶏卵位ゐの大さになる位ゐに丸めます。次に紫蘇の葉は、一枚々々取つて水洗ひして、水氣を除き、前の肉を入れて丸めます。餘り丁寧にするよりもざつと紙にお菓子でも包んだやうに上の方を一寸捻つて置くやうに致した方がよろしい。別に鍋に一寸バタを入れて解した上に並べ、湯をびしや／＼位に入れて煮ます。葉が軟かですからべた／＼になりますが、却つてこれが面白い所です。これを又程よく鹽と胡椒で味をつけます。これと同じ方法でキャベツ巻きを作りますが、キャベツ巻は、ほんとに惣菜向きですがこれならば一寸客に出すことも出來ます。

の好くない方ならば、クラブ頬紅をうつすりと刷いて、又脂肪質の方ならば、鼻の上や口の側へ、クラブはき粉白をうつすりと刷いておきますと、滅多に剥げるやうな事は有りません。假令剥げるにしても決して斑にはなりません。汗の出た時には、クラブ打粉白粉をはたくと、手早くお化粧直しが出來るのです。

問　これからだん／＼と流行病が多くなつて參ります、豫防に關する第一の注意は何で御座いませうか、記者樣の御説を伺ひたいと存じます。（兵庫縣　たつ子）

答　病菌は多く口から入るものです、夏の衞生は口を以て第一としなければなりません。殺菌の効力の著しいクラブ歯磨を、朝夕二回は必ず使用せられ、其上に食後にはクラブ歯水磨でよく含嗽をして、常に口中の清潔を保たることが必要です。―廣告―

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒（九）

デビッドの仕事

琴子

ハアンーも、ヒギンスも困つて仕舞ました。デビッドは、あたり前の子供ではありませんし、父さんの手紙には、名前も、處も書いてありません。でも、ハアレーが「困つちまふ。食ひつぶしで。」と言ふのを、「邪魔にやならないぢやないか、おいておやりよ。」とお神さんがなだめて、デビッドはハアレーの家に居る事になりました。

デビッドは時々父さんの手紙を見ては、「僕、此處に居るんだ、さうして美しい世界を見るんだ」。と言つて、山へ歸るとは言はなくなりました。

丁度、お神さんと二人きりで居た時に、「をばさん、『宿無し』って何に？　皆が僕と父さんの事『宿無し』だつて言ふの。ど、い、ろばうと逢ふの？」

「それは大達ひさ。家がなくつて方々歩るきまはる人達さ。」

「あゝ、さうか。そんなら、僕大好だ。夏になると、父さんと二人で山の中を「宿無し」になるんだよ。松の木の下に宿るの！そして松の木の言ふ事聞くのよ。おばさん聞いた？」

「エ、松？」

「をばさん。僕、今、聞せて上るよ。」デビッドは静かにヴァイオリンを出して弾き出しました。

デビッドの顔は美しく光つて居ました。お神さんが不思議さうに見つめて居ますと、「オイ。何だい。朝から。他に用はないのかい。」ハアレーがどなりました。お神さんは驚いて臺所の方へ行つてしまひました。

デビッドは、聞えないのか、空を向いて、嬉しさうに自分のヴァイオリンに聞とれて居ました。

「オイ、オイ、小僧ヴァイオリンを弾くより能はないのか。」

「何に？をぢさん。」

「何ぢやないよ。お前仕事した事はないのかい？今まで怠けてばかり居たのか。」

「イヽエ。僕、怠けないの。父さんが惡るい事だつて言つたの。」

「ウン。よし。それぢや働け！彼處に薪が積んであるだらう、あれを臺所の箱へ入れるんだ。いゝか解つたか。」

「エヽ、いゝよ、をぢさん。」

十四

デビッドは急いでヴァイオリンを置いて薪の方へ行きました。

一抱、二抱、運んでから下の方の薪をおこしますと、古い腐つた木の中から、百足のやうな長い足の虫が、うようよ這つて出ました。

「をばさん。一寸きてごらんなさい。こんな綺麗なもの！」

あんまり、デビッドが熱心でしたので、お神さんが行つて見ました。一目見て、

「オヽ、氣味が惡い！」と身慄して行つてしまひました。

デビッドは「こんな綺麗なものを」。と言ふやうな顔してお神さんを見て居ました。

其内、此度は、眞黒な羽根に金の條のは入つた きれいな大きい蝶が飛んで來ました。

デビッドは、何にもかも忘れて、ソーッと蝶のあとを追つて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

行きました。
蝶は、ヒラヒラ、ヒラヒラ、舞ひながら、庭の木の間を通つて花畠の方へ飛んで行きました。
花畠には、パンゼイの花が顔を列べて咲いて居ました。
「アヽ綺麗な花だなあ、人の顔のやうだ。目があらあ、口も。あの黄いのが僕を見て笑つてらあ。待つてお出で！僕、お前達の歌を作るから。」
急いで、ヴアイオリンを取りに行きました。
少したつて、ハアレーは臺所へは入つて來ました。何處からかヴアイオリンの音が聞えます。箱をのぞいて見ますと、薪が五六本しかは入つて居ません。
ハアレーは顔をしかめて庭へ出て見ました。花畠で、夢中に彈て居るのが見えました。
「オイ、それが薪を運ぶのかい？」
「イヽエ、をぢさん。薪ぢやないの。花の事を彈いてるの。をぢさん薪の事だと思つたの？」
デビッドは笑ひながらまだ彈いて居ました。
「何だい。彈く事なんか言つてやしないよ。薪はどうした。薪は？」
「今、すぐします。」
「前にしろと言つたぢやないか？」
「エヽ、だから、初めたの、でも綺麗なものが澤山あつたから、この人の顔のやうな花の事彈ずにやゐられないの。それでも、薪を先きに入れなきやいけないの？」
「さうさ。」デビッドは目を見はりました。
「だつて歌が無くなるんだもの父さんが歌は丁度、霧のやうで出來たらすぐ彈かないと消えてしまうと言つたんだもの。」
ハアレーはいやな顔をして居ました。デビッドは、
「僕が間違へたのかしら。」と默つて自分のした事を考へました

外國で仰ぐ日の丸の旗

此の間米國サンフランシスコへ、日本の練習艦二隻が行つた時、田舎からわざ〳〵見に來た日本人が澤山ありました。中に一老婆が五六歳位の子供を連れて艦内を見巡り、なつかしげに故郷の人をながめて居りました。するとその子供は何が悲しかつたのか、ワッとばかりに泣き出しました。すると老婆は「ウンと泣け、此處だけは日本の國だ、ウンと泣け」と叫んだので、並居る水兵共も涙を催しました。此の老婆は多分勞働者のおふくろさんで、日本に居れば物のあはれも知らずに働いて食べて一生を事もなげに送つて終ふのでせう。が遠く故郷を離れて、他國々旗の下に住み、始中終居候のやうな一種の壓迫を感じて居つたので、ふと飜る日の丸の旗がひどく戀しく有り難く思はれたものと見えますと、同地に居る私の友は云つてよこしました。――記者

廣告

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小說

默争（一）

高田てい子

通街はまだ眞晝の白い熱烙からはなれきらなかつた。

いら〱した尖光は瓦や敷石や道路の上を鋭くさしてゐた。埃りまみれの街路樹は心臓病みの老人のやうに艶もなくうなだれて、犬は赤い舌を吐きだしながら走つてゐる。荷馬車はやけに打つけるやうな荒い音を殘して馳けていく　撒き水は地から淺く踏るやうに發散してしもふ。だれた物賣の呼び聲。人や動物からのよごれた汗のいきれ。暑く、ものうく、眠い街を、電車丈けが乾いた快活なひゞきで往き來してゐた。

横通りの狹い蔭の多い町に曲つた時、昌は蒸れるやうな呼吸から逃がれてほつとした。汗ばんだ肌を押しつゝむやうに洋服がからみついて、書類の包みをかゝへた左の腕は不氣味にぬれてゐる。それでも一週間つゞく休みに間のないのを思ふと、汗のにじみよる彼の熱い臉の裏には、山や海が蒼く涼しく浮かみ出て、讀みたい書物がその間にずらりと行列した。

「何處でどうして過ごそうか」

然しこの呆然した問ひに意識がまとまつた答へを贈らないうちに腕の中の重い包みは、彼の心の廣ろやかな自然を無遠慮にこわしてゐた。書物をうばひ去つた。

「特別にたのまれた社の仕事を仕あげなければ……」いつでも何處へでも隨いてまはる影坊師のやうな「勤め」を、昌は平常より憎しみの眼で睨みつけた。

「少しの愛も趣味ももてない職業に若い日を毎日つないで行くたゞ生活の爲めに。喰べる爲めに。なさけない厭やな事だ。醜い事だ、むしろ自分に對する一種の罪惡だ。自虐だ。愛を知らない性的な策略的な結婚生活の醜惡と少しも變りがない」

彼は抗ひと罵りを自分の上にそれから他の何物かになげつけてゐた。

腐れたどぶ水の臭氣がむら〱と足元から立ち昇る。それを避けるやうに急ぎ足で彼はもう一つの横町を右に折れた。やがて昌の高い姿は、茂りの濃い檜葉垣にはさまつた低い門をくゞつて隱くれた。野々村寓と記した瀨戸燒の表札と、門燈の丸い球には、熱光の火花がぎら〱照りつけてゐた。

そこはまだ家庭をもたない昌の假寓である、運命が一つの影を彼の傍に列べる日まで、親しい知人の奧の一間が彼の落ちつく世界であつた。和洋式の明

十六

い三つの窓のついた六疊のその部屋に昌はちつとも不足がなかつた。市内の雜沓から遠くないので、眺めに充分の歡びはもてないけれど、櫻や椿や楓や躑躅の狹い植込みからでも四季の移る姿は面白く見られた。それに好きな「小母さん」のゆきとどいた心切がある。獨りものとしては昌は居場所に幸福であつた。玄關から茶の間の横の廊下を越して自分の部屋にはいる前に、昌の心にはいつもある期待のたのしい微動がある。彼の空想は机の上に手紙か端書か雜誌かなにかを必ず乘つけて置く。疲れた體と心の迎へ人として、默んまりな獨りの部屋に何かの變化を彼はゑがかないではをられなかつた。會の通知狀のやうな粗末な印刷物でも一寸の間彼の氣もちを換へた。きちんと片づけた朝のまゝの室であつても別段失望はないものゝ、「なんにもなかつた」とそう思ふ瞬間は安易なさびしい心であつた。いつでも

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

墨で達者にかいてある澪子の筆蹟はとほくからでも見わけがついた。そしてドアを開けて机の上にその筆あとを探がしあてた時、昌の胸はふしぎな騷ぎでゆらくした。それが良人の泉に代つて書いた短い要事のものであつても、それから書物を貸してほしいといふ厄介な申込みであつても、彼は何かしら、その紙片に文字に魅惑を感じた。そしていつの間にか期待の隅に彼女の筆あとを陣取らせてゐた。昌はそれを恐かにいまくしく思ひながら、毎日無意識の意識で彼女を自分の部屋にさがし求めるやうになつてゐた。今日も彼はそれを繰りかへして苦く舌うちした。

「馬鹿者！あの人はもう決つた位置に釘付されてゐる夫人じやないか。しかも親しい先輩の……」

彼は頭をふつて幻影の澪子を心の窓から追ひ拂つて部屋を出た。

臺所につゝいた湯殿に下りていつたとき、女中のおしのはいゝ色した頰に水玉をいつぱい散らかしながら洗濯してゐた。

「お歸へりあそばせ」彼女はあわてゝ立ちあがつて、大きい洗面器を水道の口に當てた。

「こんな時は井戸の水だとよう御座んすね、冷めたくて……」

――あゝ――

昌は肉の厚い腕から胸を水に濡らして深い息を吸つた。暑さが滴に溶けて肌から水に落ち流れるのを感じた。惡戯する子供のやうにやゝ久しく彼は拭いたり濕したり、タオルと腕を動かしてゐた。

「若い生命！　あゝ自分は生きてゐる」

逞ましく肉の盛れあがつた腕をつまみあげて、昌の心は獨り言した。「生きてゐる」この分りすぎ當り前すぎる言葉の感激がなりく彼を打ち震はしてゐた會社の忙しい事務机の前で、靜かな自分の部屋で、歩いてゐる途の上で、彼は不意にその感激に出合ふ。そして目眩むばかりの「力」を內に感ずる。何もかも蹴ちらかして何處かに走り拔けたいやうな强烈な運動が全心にまき起る。それは若い心の高い慾求發作であつた。

「惱やましく愛すべき慾望。どうすればいゝのだ」

部屋に戾つた昌の眼には淚がういてゐた。けれども間もなく澪子の纎美な容姿が入れ替つて座を占めたのを知ると彼は落膽して嘆息した。

久保山の井

牧羊山人

我はわが友の勤勞に依りて
大自然のふところに抱かれたる
谿谷に
小さき井を掘れり。
井の水は湧き上りたり
願ひの如くに、
眞に淸く冷たく、
是れ實に神の惠深、
わきあがる水よ、汝が淸き力を
以て
我が內に潛める慾心の焔を消せ
よ
わきあがる水よ、汝が淸き力を
以て
我が眼の穢を洗へよ
わきあがる水よ
我等貧しき者は米鹽も絕えがち
なれど
天に源をもてる汝のみは
われらの命をはぐめる
井の水よ汝は細くとも長く
人と物との生命に流れて竭きざ
らむ。

□**女子美術の夏期講習會**　同校にては來る廿七日より二週間、夏期講習會を催すさうです。今年は特に絞染め科を加へて別項廣告に記載の如く十四科目を設けてある由。なほ油繪科には岡田三郎助氏を聘したとの事故、一層完備した教授をなさるゝ事になりませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□帝國大學に行幸　天皇陛下には十一日東京帝國大學卒業式に行幸。この日卒業證書授與の榮を擔ひたる新學士は實に千六百十四人さいふ多數に上りました。尚二十一名の優等生に對し、例の如く銀時計を下賜されました。

□兩皇子殿下の御見學　淳宮、高松宮兩殿下には、廿日東京御出發甲信越の各地御見學の後、廿六日福島縣翁島高松宮御別邸へ御避暑遊ばさる旨仰出されました。

□妃殿下御聽講　閑院宮同妃兩殿下御主催にて、十四日午後二時より霞ケ關離宮に皇族講話會を開催、各宮妃、近宮殿下御參集、左の講演を御聽取相成りました。

女四書　文學博士男爵細川潤次郎
婦人の道德觀念　文學博士服部宇之吉

□博義王殿下の御成年式　伏見若宮博恭王第一の王子博義王殿下には、來る十二月八日を以つて賢所大前に御成年式御擧行の事に決定しました。尚ほ今回の御式は成年式御公布以來の盛儀さて、詳細の次第に就ては昨今當事者が研究中なりさ申します。

◉獨逸政府危機に陥る

獨逸帝國議會委員秘密會議の席上に於て、加徳里教議員エルツベルゲル氏の、内外政策の變革を要望する旨の演説は、端なくも獨逸政府をして、一大危機に陥れ、議會はこの期を利用して政治上の一大改革を行はんさして居ります。これが爲め政府さ議會さの疏通を缺き、内閣は總辭職の止むなきに至り、ミシエリス博士は其の後を襲ひました。　皇帝も民主運動に重要なる讓歩をなし、普通選擧法案を普魯西議會に附議し、近き將來に於て民主的革命を實行すべしさ聲約するに至りました。　尚ほ皇帝は皇太子の伯林來着を待つて御前會議を開き、議會の要求せる多數の條件につき協議さるべしさ傳へられます。　然るに**議會は目下懸案中の政局決定を見る迄は、議事を進めずさて　同盟して休會して居るさ申します。**

◉北京總攻擊と支那の政局　張勳は復辟に充分の敗北を見せたるに拘らず、徐王氏等の態度を憤り、益々頑強の行動を取るに至りました。こゝに於て段軍は十二日未明より北京總攻擊の擧に出で、天壇及び南池方面に於て段張兩軍の間に激戰行はれ、午前七時に至つて張軍隊に利あらず、張勳は身をもつて和蘭公使館に遁れ、天壇なる張軍亦降服致しました。是に於て段氏は十四日三百名の兵を率ゐて入京し、南京なる馮代理總統よりは段内閣に承認を與へました。こゝに支那政局も一段落を告げ馮總統は改めて黎氏を大總統府に迎ふる爲め特派を出しましたが、黎氏は自ら元首の器にあらずさして之れを受けず、馮氏亦代理總統の席を辭しました。馮氏の眞意が果して奈邊にあるかは疑問でありますが、代理總統さ云ふが如き曖昧の地位にあるを避けん爲めさ、段氏に對して餘り好意を有せざるさの爲めらしく、近く兩氏の離間を見るべき徵候が漸く表はれんさして居ります。

◉帝國議會閉會　第三十九回特別議會は十四日を以つて終了せるにつき、豫て仰出されたる通り十五日閉會式を擧行いたしました。

◉ナイト提督來朝　米國の亞細亞艦隊司令長官オー、エム、ナイト提督並に參謀長ヴオーゲルゲザン氏、エー、アル、ソース、テイー、エッチ、ブランデー兩大佐一行五名は、我が軍艦吾妻の故米國大使の遺骸護送に對し、本國政府の謝意を述ぶる爲め、十五日横濱に入港、十六日一度上京歷訪に關して宮内省 其の他さ種々打ち合せを致しました。

◉江渡中佐戰死す　**七月九日夜某地點に碇泊中、爆發して沈沒せる英國軍艦ヴアンガード號に觀戰武官さして乘り組み居りし、我が海軍中佐江渡恭助氏は、不**幸にして其の乘艦さ運命を共にせられました。　氏は陸奥國三戸郡五戸村に生れ夫人さの間に三人の女兒があり、少年時代から秀才さして囑望されて居りました。特に得難き砲術の名手さして、其の射擊の銓は眞に驚嘆に値するものがあり、昨年八月教育本部から英國に派遣されたのも亦其れが爲めであるさ申します。右の趣天聽に達し十六日附を以つて左の通り敍任行賞の御沙汰がありました。

海軍中佐從五位勳四等功四級　江渡　恭助
任海軍大佐敍功三級授金鵄勳章年金七百圓敍勳三等授旭日中授章

◉新博士廿二名　十六日文部省に於て、新博士廿二名の學位授與式が行はれました。その内には少壯學者さして有名な鳩山秀夫氏(三四)等があります。

◉電燈案通過　奥田市長の電燈責任案は永い間東京市會の問題さなつて居りましたが、去る十日愈々之が可決を見ました。更に十二日には東京、日本、兩電燈會社さ契約の相談を遂め、監督官廳の許可があり次第實施されるゝ事さなつて居ります。奥田市長の案になつた改正案の主なるものは、一軒に就て五燭光の電燈一箇を限つて使用を許可する事(勿論座敷以外の場所即ち廊下便所等は之の限にあらざること)料金を一定して五燭四十五錢十燭五十五錢、十六燭六十錢、廿四燭七十錢さ定むる事、尚ほ東京電燈では全部をタングステン球に替へ、今迄の如く各家庭に於て倍燭光のタングステン球を用ふる事を禁ず。其他メートル使用上の注意等であります。　**尚ほまだ三電協定後の營業區域は。**

▲東京市電氣局の分　芝、麻布、牛込、小石川、本鄕の五區
▲東京電燈會社の分　麹町、神田、日本橋、京橋、赤坂、四谷、下谷の七區
▲日本電燈會社の分　淺草、本所、深川の三區

でありますから、新らしく申込むものはそれ／＼受持の會社に　申込まなければなりません。

◉活動寫眞取締規則の公布　警視廳小幡保安部長の手で起草中であつた問題の活動寫眞取締規則はいよ／＼脱稿し、十四日廳令さして公布されました。右は本文が六章四十八ヶ條附則二ヶ條づゝから成つて居ります。　其の主なるものは既に發表致してあります通り、フヰルムの選擇特に少青年向の二種に分ち、一定の時**間を限つて興業を許可するこさ、男女席の區別、興業場に關する建設並に場内諸準備辯士は警視廳より與へられた免許證を有するものたるべきこさ、其の有効年限は三ヶ年さす等の諸條であります。**

十八

◉冷奴から赤痢　神奈川縣立師範學校寄宿舍にては九日より十二日迄に七十餘名の赤痢患者を出し、豫防に全力を注ぎましたが、容易に終熄の模樣がないさの事です。これは多分八日の夏食に食べた冷奴内に病菌が潜伏して居つたのであらうさの事です。　夏期は特に生物は注意を要します。

◉大塚博士の再婚　楠緒子夫人を失ひて多年孤獨の生活を送られた東京文科大學教授文學博士大塚保治氏(五〇)は、此の度懇意なる八田第三中學校長夫妻及び芳賀文學博士夫妻の勸誘もだし難く、新潟縣新發田女學校教諭にして七年前の東京女子高等師範學校卒業生なる坂井たき子(三〇)女史を迎へ、愈々來る廿一日を以つて日比谷大神宮に華燭の典を擧ぐる事さなりました。　因に楠緒子夫人の遺見なる長女雪枝子(二三)は夫人の里方に長男弘(一九)は博士の邸内に居られます。

◉貴婦人受賞　大正二年北海道外六縣凶作、同三年一月鹿兒島縣櫻島爆發の際罹災窮民に金品を贈られたる松方侯夫人滿左子、德川公夫人泰子、島津公夫人伊子、井上侯夫人武子、淺野侯夫人綱子、德川侯(賴倫)夫人久子、島津公母堂田鶴子、池田侯夫人亨子、德川侯(義親)夫人米子、寺内伯夫人タキ子、山本伯夫人登喜子、三島子夫人加根子、加藤子夫人春路子、澁澤男夫人カネ子、古河男夫人不二子、高木男夫人こう子、堀越ウメ子等に對し、今回其賞さして賞勳局より銀杯、木杯等を賜はつたさうです。

◉思ひ／＼の休暇を送る女高師生　東京女子高等師範學校生徒は本年も亦夏季休暇を利用して各種の催を試み、去る十一日午前八時には三十五名の一團が、細田、二階堂兩教授引率のもさに富士登山の途に上り、同日午後四時東京驛を發した十四名の一行は、矢部教授以下七名の職員さ共に滿韓地方の見學をなし、二十八日下の關着さ共に解散の筈であります。又例年

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の通り水泳練習に房州富浦に開かれ十二日生徒三十名と川上、北見の二教授は同地に赴かれました。

◉**初めて卒業した女運轉手**　先頃府下大崎町の自働車學校に初めて女子の入學した事は既に人の知る處でありますが、其の第一回卒業式が十四日擧行されました。優等生は男女各一名ですが、この一名の婦人關根いく(一八)は福島縣岩瀬郡牧本村の出身で我が國初めての女運轉手であります。同校にては、來る十月に二名十二月に二名の女子卒業生を出す運びである由です。

女學校だより

▲**女子大學生夏期寮に赴く**　目白なる女子大學にては、來る二十一日より夏期休暇となりますので、上級生有志者六十名は二十三日輕井澤夏季寮に赴く筈です。

▲**女子美術染色講習會**　本鄕菊坂女子美術學校にては本月廿七日より來月三日迄富田錦夫氏を招聘し染色法の講習會を開くさうです。

▲**大妻技藝講習會**　麹町九段上大妻技藝學校にては來廿日より八月卅日まで、編物袋物、摘み細工、造花、綿細工、壜細工、絞染刺繡、生花、盛花投入、茶の湯の講習會を開きます。

編輯室より

▲九十二三度の暑さに喘いだ數日の後、俄かに七十二度といふ冷氣に立歸り、張り切つた筋肉は調子外れに萎みを覺えます。ほんとうに不順な時候です。皆樣御用心なさいませ。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依頼者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報
(每週金曜發行)

定價表

△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等(表紙の二、三、四)金參拾圓
△壹等(白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の內側)金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

大妻技藝學校
第三回 個人教授 夏季講習會

一、**會場**　東京麹町區上六番町七番地

一、**科目及び講師**　(科目イロハ順)

生花盛花投入茶の湯
縫紉工科
綿細工科
摘細工科
袋物科
編物科
作法科

久野連峯　大妻一惠　本間喜美子　矢吹鐵德　吉岡房次郎　青柳禮子　横山芳山　滋野喜代子　高橋柳子　清水頼子　南守護吾

裁縫科
儀式用折紙並に水引結方科
刺繡科
絞花科
壜細工科
染絞科

大妻一惠　奥平加賀惠　山内千代　大妻一惠　水野佐代子　青柳禮子　矢吹鋭德　大妻一惠　平野すて　宮田輝夫　椿登喜子

開催期日　七月廿日ヨリ八月卅日迄期間中ハ何時デモ入會ガ出來マス。但各科ノ講習細目ハ入會ノ日ヨリ凡ソ二週間以內ニ出來マス

時間　各科共午前八時ヨリ午後四時迄個人教授ノ方法デ教授シマスカラ何科目デモ隨意ニ兼修スルコトガ出來マス

講習料　普通科金壹圓五拾錢高等科金貳圓束修不要

器具及材料　御持合セノ品ハ御持參御隨意デス御持合セ無イ方ハ當校內ニ全部取揃ヘテアリマスカラ實費デ御讓リ致シマス

入會申込手續　御志望ノ方ハ入會申込書ニ希望ノ科目ヲ記入シテ會費ト共ニ入會ノ日迄ニ差出シテ乞フ

講習證書　規定ノ科目ヲ修了シタ方ニハ講習證書ヲ差上ゲマス

寄宿　遠方ノ方デ當地ニ御親類ノ無イ方ハ御志望ニヨリ本校內ニ寄宿ヲ許シマス寄宿料ハ一日分食費、舍費、寢具、電燈、風呂等一切デ參拾五錢一ヶ月以上寄宿ノ方ハ當校ノ別ニ定メタ規定ニヨリマス

本校在地及ビ注意　遠方ノ方ハ當市內ノ何レノ驛ニ御着キニナリマシテモ御荷物ノ配達ヲ驛ニ托セラレ電車デ靖國神社横(富士見町)迄ノ切符ヲ買ヒ求メラレ下車シテ左ニ牛丁坂ノ途中デアリマス

參觀　參觀御希望ノ方ニハ實習並ニ製作標本ヲ御覽ニ入レマス

校則並ニ講習細目　御入用ノ方ハ郵券二錢御送リ下サイ

大妻技藝學校
電話番町一二二〇番
振替口座東京三一六〇九番

夏期講習會
八月一日ヨリ四週間
使用機械有限、急至申込あれ

ミシン刺繡科
ミシン裁縫科

(規則進呈)　東京有樂町一ノ五
シンガー裁縫院

十九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附內）
電話番町 六二番
東洋內科醫院
院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番
南湖院
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒天印 赤 白
宮崎葡萄液
宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク願ルオモシロキ理想的好飲料
大小數種化粧箱
商品切手調進仕候
宮內省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元 甲斐產商店
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科専門
（入院隨時）
大野耳鼻咽喉科醫院
院長 大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科
宅診午前 往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫吉岡彌生
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町二三五七
東京至誠病院

英語生徒募集
高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初步より學ばんとする者にも懇切に教授す（ピアノ個人教授の需めに應ず）
英語専門私立 櫻井女塾
本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

產科、婦人科、小兒科
女醫 井出茂代
東京府內藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院
○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京一二二三一番）

マッサージ夏期講習會
一、目的 家庭に必要なる衛生及び慰安マッサージを教授す
一、塲所 牛込區市ヶ谷田町二ノ廿一松宮方（婦人週報社附近）
一、期日 自七月十六日至七月卅一日 自八月一日至八月十五日 自八月十六日至八月卅一日（日曜日を除き毎日午前二時間）
一、人員 一回十人を以て定員とす
一、講習料 金拾圓也前納の事
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す
一、特典 講習修了者は會員として今後の藤井女醫主催の衛生講習會に隨意傍聽又は研究に出席する事を得
講習主催者及主任 女醫 藤井孝子
右御希望の方は至急牛込區市ヶ谷田町二ノ十七婦人週報社（電話番町四五六六）に申込まれたし。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人之友社の三大雑誌

『婦人之友』

毎月一回 一日發行

一冊金二十錢 郵税壹錢五厘

主幹 羽仁もと子

『新少女』

毎月一回 一日發行

一冊金十二錢 郵税一錢

編輯主任 河井酔茗

『子供之友』

毎月一回 一日發行

一冊金十二錢 郵税五厘

主幹 羽仁もと子

東京雑司ヶ谷 **婦人之友社** 電話番町三六九八 振替東京一一六〇〇

弊店の特色

御召 織式 縞染

△古手物モ新規同様ニ相成候

△出來期日ハ殊ニ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候

△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地
（玉川電車通西郷邸前）

百足屋染物店

平田孫太郎

庭花水

定價上二十五錢、並二十錢

色を白くとお望みの御方はぜひ本品をおためし下さい永く御用ひの時は不思議に色を白くきめ細に生々として自然のまゝの美くしさになります永年實驗の上皆様に御すゝめいたします

芝區新堀二八（電話芝一六二六）大庭方

田村まさ

販賣所

芝區金杉三丁目 岡野商店

上州碓氷郡原市町 晩香堂

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA